



ここをこう貼ってな〜



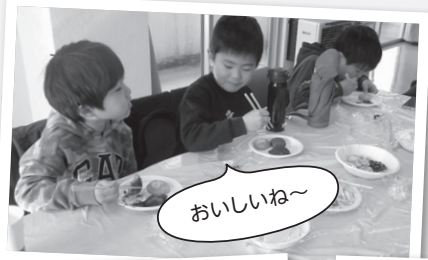
なかなか綺麗になえないぞ



細かいところがちょっと難しい



正月飾り 餅つき 昔の遊び



おいしいね〜



杵が重いよ〜



うまく飛ばかな

かんぽう



ま

No.375

今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004

午前は、松代焼体験。独特の青緑色の光沢が特徴の焼き物です。指導員の説明を聞きながら、土をこねて型にかぶせて、「型おこし」という手法で思い通りに湯呑みかご飯茶碗を作りましました。「厚さが均一でない」「ひび割れてしまった」「ちよっと斜めになった」など、



松代焼体験・善光寺宿坊・御戒壇巡り
文化資産を楽しむ
12月3日(火)、今井公民館・今井地区福祉ひろば共催の文化資産を楽しむ研修が、参加者33人を集めて実施されました。

★善光寺ライブ★
山門にかかる「善光寺」の額文字の中には、鳩は何羽隠れているでしょうか？

苦勞しながら約1時間で仕上げました。2ヶ月後の仕上がりが楽しみです。
宿坊にて、精進料理をいただいた後で、善光寺に参ります。宿坊の案内人から説明を受けながら散策をしていくことで、新しい発見があります。仲見世通りの中ほど西側にある、旧如来堂跡地蔵尊(元の善光寺本堂があった場所)や、山門前の六地藏、延命地藏など、お地藏様は座っています。左足を下ろして一歩踏み出す形です。これは、すぐに人々を救いに行けるように準備しているのだとか。
次のご開帳は令和9年ですが、人混みの少ない時に行くのも新しい発見につながると感じられました。案内人を依頼するのを勧めします。



また、終了後には、野球教室を企画していただいた創部

室を企画していただいた創部

本年度、創部50周年を迎えた今井アタックスでは、11月10日に記念イベントとして、エフソ

ン野球部による野球教室が開催されました。当日は、清々

しい秋晴れの下、13人の在校生が、高い技術を持つお兄さん

たちに囲まれ、目をキラキラさせながら指導を受けていま

した。子どもたちの今後の野球人生にとって、大きな刺激となる体験となりました。

また、終了後には、野球教室を企画していただいた創部



令和6年度保護者会長

桜井 勇



し頃公民

「つぶやき書いてくれる？」
「えー、他に誰かいるでしょ」
「そこを何とか」結局引き受



No.296

「さて
よわったぞ」

櫻井 正志
(西耕地)

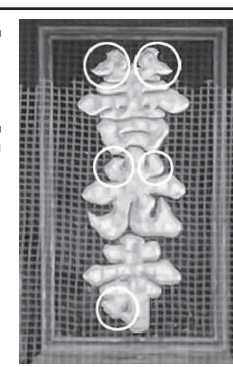
50周年実行委員会（実行委員長・大槻和仁）の皆様から、今後に向けて、激励のお言葉と共に記念品の贈呈をいただ



きました。地域の皆様に見守られ、支えられている今井アタックス。これからも元気な子どもたちと活動を続けて行けたらと思っています。

★善光寺ツインズの答へ★

左の写真のように、5羽の鳩が隠れています。



【おまけ】「善」の字をよく見てください。善光寺ゆかりの動物の顔が見えてくるから不思議です。

館主事を、その後館報編集委員 最後は委員長までやり、多くの皆さんに原稿依頼をしてきた負い目がある。ここは致し方なしと。さて何をつぶやこうか。妙案も浮かばず2週間。さてよわったぞ。

勤めを辞め隠遁の身。もはやほほほ欲はない。あえて言えば世界の平和か。流血が止まぬウクライナ、パレスチナ。命の軽視にもほどがある。誰か戦争を止めてくれ。ランプに期待する他ないのか。いささかテーマが重過ぎた。やっぱり激推し

今井地区の人口

(令和7年1月1日現在
対比 令和6年1月)

● 世帯数 一、五七五戸

● 人口 (前年比 十戸増)

● 男性 (前年比 三、六五五人減)

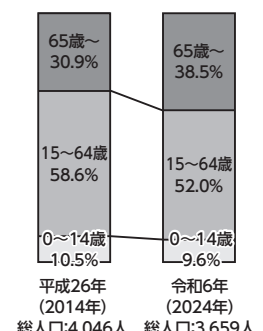
● 女性 (前年比 四、二八七人減)

● 人口 (前年比 一、七八七人減)

● 男性 (前年比 一、八六八人減)

● 女性 (前年比 三、三二人減)

今井地区の年齢別人口割合



北風南風

「ばばあちゃん」ぐりとぐら「ねないこだれだ」もこもこもここれらの絵本を見たことがない人はいないと思う。

昨年、亡くなった絵本作家の代表作である。娘に何度読み聞かせたことか。今は娘が孫に読んでいます。私の読書体験は小学校の図書館から始まった。昭和の初めに生まれ育った私の両親は経済的・時間的に余裕がなかった。図書館で借りた本はいつしか私を虜にしてしまった。受験勉強中も本を読むことはやめなかった。そして、今なお読書は生活の一部になっている。絵本の読み聞かせは、娘と本の楽しさを一緒に味わいたかったから。本を好きになつてほしいという願いはあつたけれど、押し付けることはしなかった。私は読書を通して、想像の世界ではあるけれど、人間の深さや広さに気づかせてもらった。一人ひとり本から受け取るものは違ふけれど、小さい子ども達には絵本の楽しさを是非味わってほしい。現在の絵本は多種多様だ。絵は独創的で楽しいものが多い。懐かしい絵本もたくさん並んでいる。どんな絵本を選ぶのか。子どものきらきらする目を見たいと今日も図書館で絵本コーナーを覗いている。(SY)